未来の収穫祭2018

丸亀市

HOT サンダルプロジェクト実行委員会

丸亀市

・

HOT サンダルプロジェクト実行委員会

目次

はじめに‥‥ 1
講師コメント‥‥ 2 ~ 3
本島‥‥ 5 ~ 12
広島‥‥ 13 ~ 27
手島‥‥ 28 ~ 41
小手島‥‥ 42 ~ 49
ワークショップ‥‥ 50 ~ 53

はじめに

HOT サンダルプロジェクトは、香川県丸亀市内の離島に美術を専攻する学生を招き、制作活動に取り組んでいただくことで、アートによる島の活性化、若手芸術家の制作支援、文化芸術振興の推進を目的として 2012 年より実施しています。

7 回目を迎えた 2018 年も多くの学生にご参加いただいたことで、島内が活気に満ち溢れ、島民と学生との交流が深まり、実りあるプロジェクトとなりました。

今回参加した学生たちが島の美しい自然や島民との温かい交流の中で制作した作品をご紹介します。

丸亀市・HOT サンダルプロジェクト実行委員会

HOT サンダルプロジェクトによせて

島で暮らす（HOT サンダルプロジェクト）

2018 年夏、6 年振りに瀬戸内を訪れる機会に恵まれました。2012 年の HOT サンダルプロジェクトの発足に合わせたワークショップ以来の訪問です。

今夏の参加大学は、初年度からの武蔵野美術大学、多摩美術大学、女子美術大学に加えて、東北芸術工科大学、金沢美術工芸大学、広島市立大学、倉敷芸術科学大学、文星芸術大学、信州大学の学生が参加されていました。参加する 30 名近くの学生が、塩飽諸島の 4 つの島（本島、広島、小手島、手島）に滞在し、島民の方とのワークショップや創作活動を行うのは、毎年恒例となっています。

瀬戸内海の島でのアート関連のイベントは、良く知られていることですが、学生を支援するプロジェクトは稀有なことではないでしょうか。出身も異なる様々な地域から集まった学生が、日常から離れて自然と向き合い、世代も異なる島民の方と触れ合うことは貴重な経験となったはずです。

当初予定していた島民の方を交えた作品のプレゼンテーションは、台風の影響で中止となり、学生のみの発表となったことは、学生にとっても心残りであった様ですが、学生が発する言葉の端々に、滞在中に得た今まで気付かなかった多くの感想を聞くことができました。

インターネット社会の現代を、どの様に生き抜くのか。自然と向き合い、島民の方と触れ合った経験を基に今描いた作品から、将来どこへ向かうのか。島での経験は大切な記憶となって学生各々の心の片隅に蓄積されたことでしょう。

学生を支援して頂いた島民の皆様と丸亀市に心より感謝致します。引き続き HOT サンダルプロジェクトを宜しくお願い致します。

間島秀徳（日本画家・信州大学教授）

瀬戸内の海に浮かぶ島々に滞在した若者たちが、感じた事を絵画という形を持ってメッセージを発信しました。

若者たちは日本の各地から集まった、島の自然も暮らしも知らない異邦の者たちです。彼らには多くの発見があったことでしょう。また、島に暮らすことを日常としている人には当たり前となっていることが、貴重で尊いものとして映しだされているかもしれません。それほど瀬戸内地方には豊かで独特な文化と自然があります。

絵画は 1 万 5 千年以上前にコミュニティの人と人が心を繋げるための手段として生まれました。塩飽諸島の自然と人々の紡いで来た歴史が、芸術を志す若者に刺激を与え、アートが地域の活性化の一助となり、互いの未来が美しいものへと育まれていく姿に芸術本来の姿を感じました。

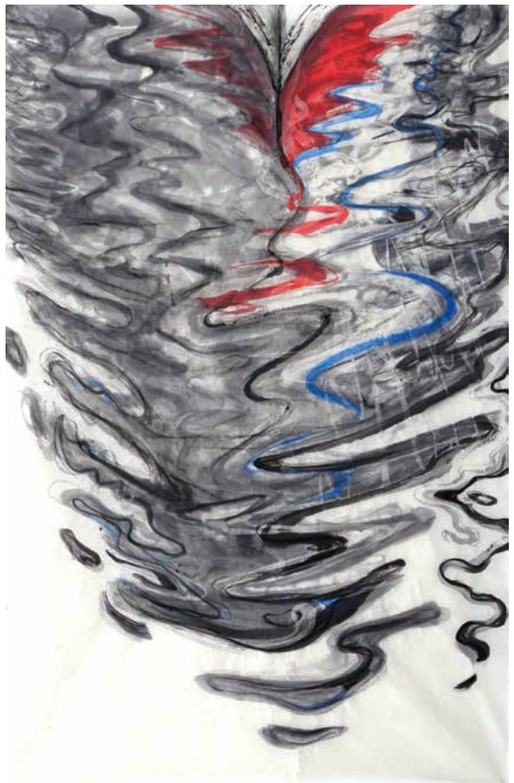
これまで HOT サンダルプロジェクトに関わられた方々、市民の皆様に心からお礼を申し上げるとともに、今後もこのプロジェクトが益々発展することを期待いたします。

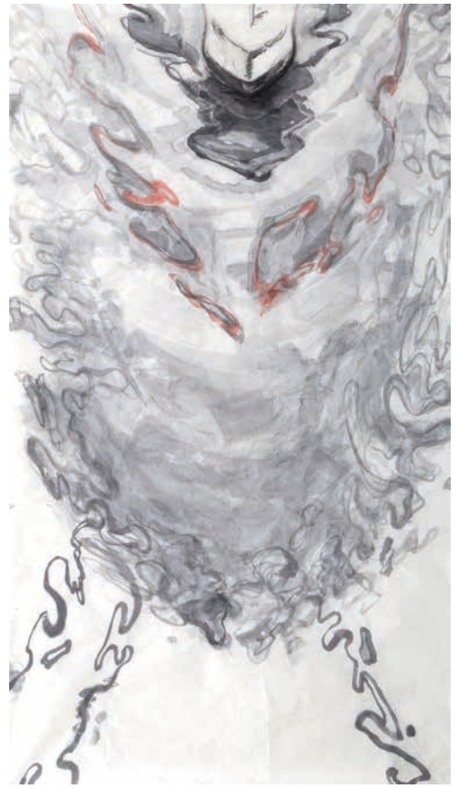
末永敏明（日本画家・東北芸術工科大学教授）

本間 Honjima

東北芸術工科大学
加藤　聖乃 Kiyono Kato

「島には誰もイヌ」 80.3×116.7　岩絵具





多摩美術大学

小林　明日香 Asuka Kobayashi

「漁船」152.5×96.5　151×96.5　167.5×96.5　158.5×96.5　紅星牌、雅邦紙、墨、岩絵具、水干絵具、木炭

東北芸術工科大学

小松　莉子 Riko Komatsu

「塩飽勤番所」 91×116.7　岩絵具

東北芸術工科大学

手代木　伽友 Kayu Teshirogi

「遺る」 91×116.7　水干絵具

女子美術大学

吉田　楓 Kaede Yoshida

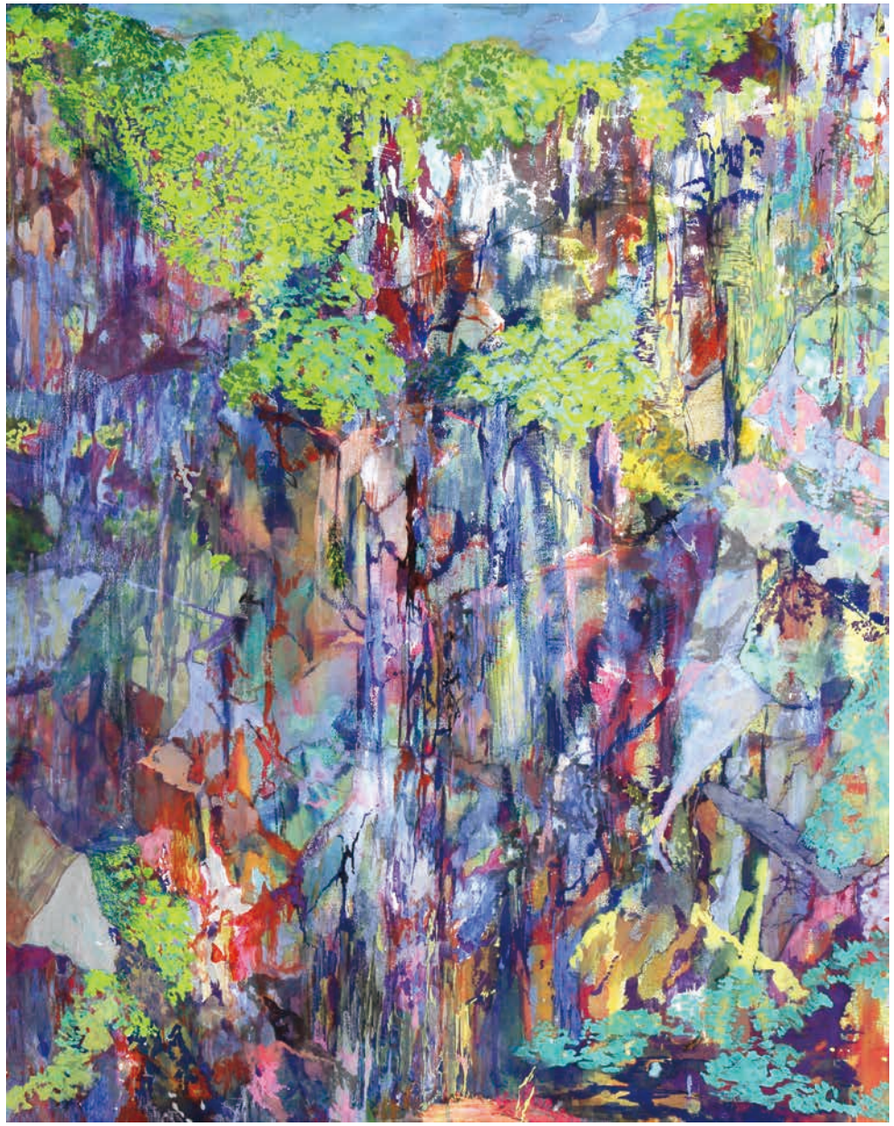
「小阪を眺む」91×116.7　水干絵具、岩絵具、硅砂

広島 Hiroshima

多摩美術大学

石渡　紬 Yu Ishiwata

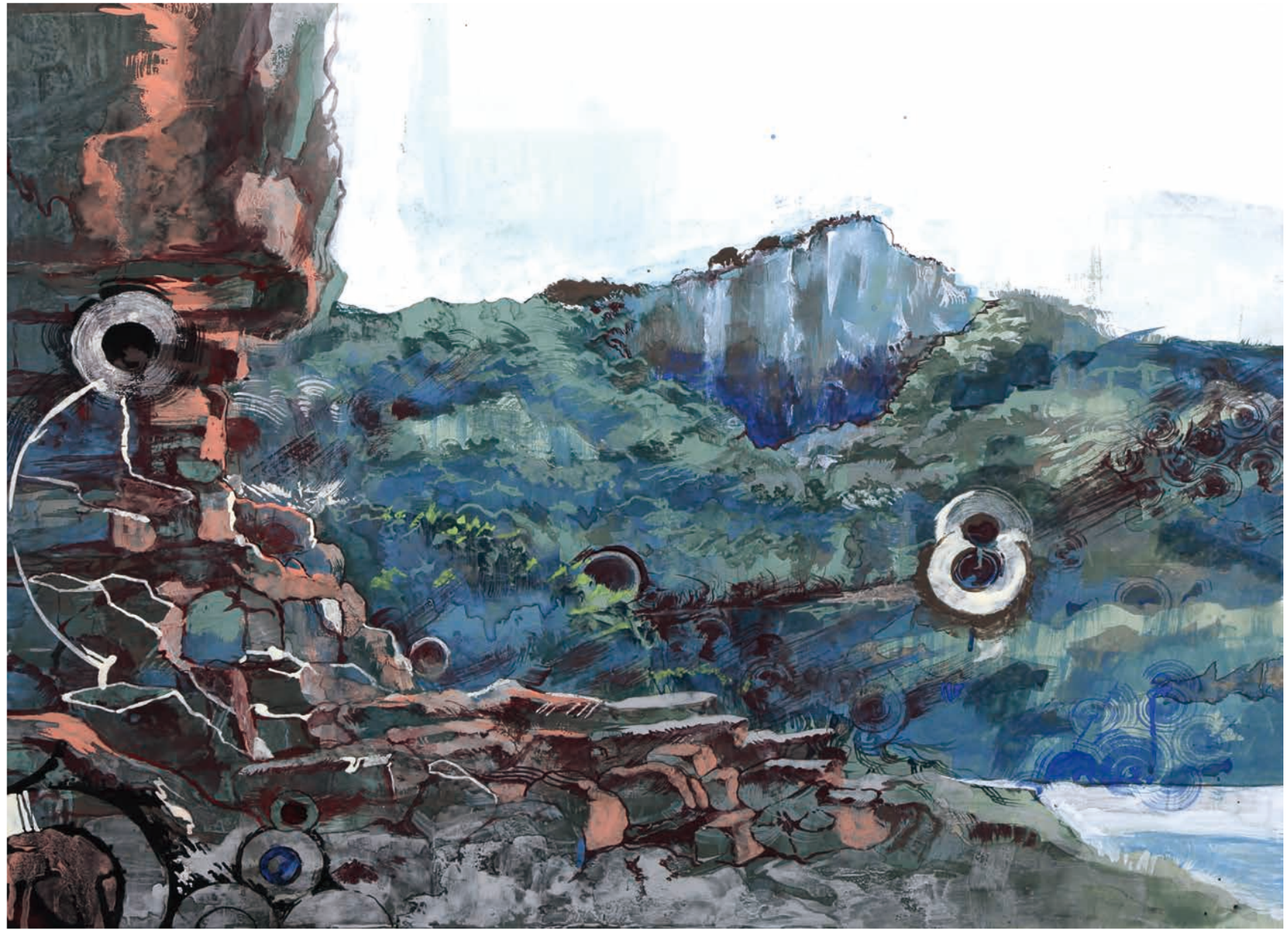
「花」60.6×182　キャンバス、油彩



東北芸術工科大学

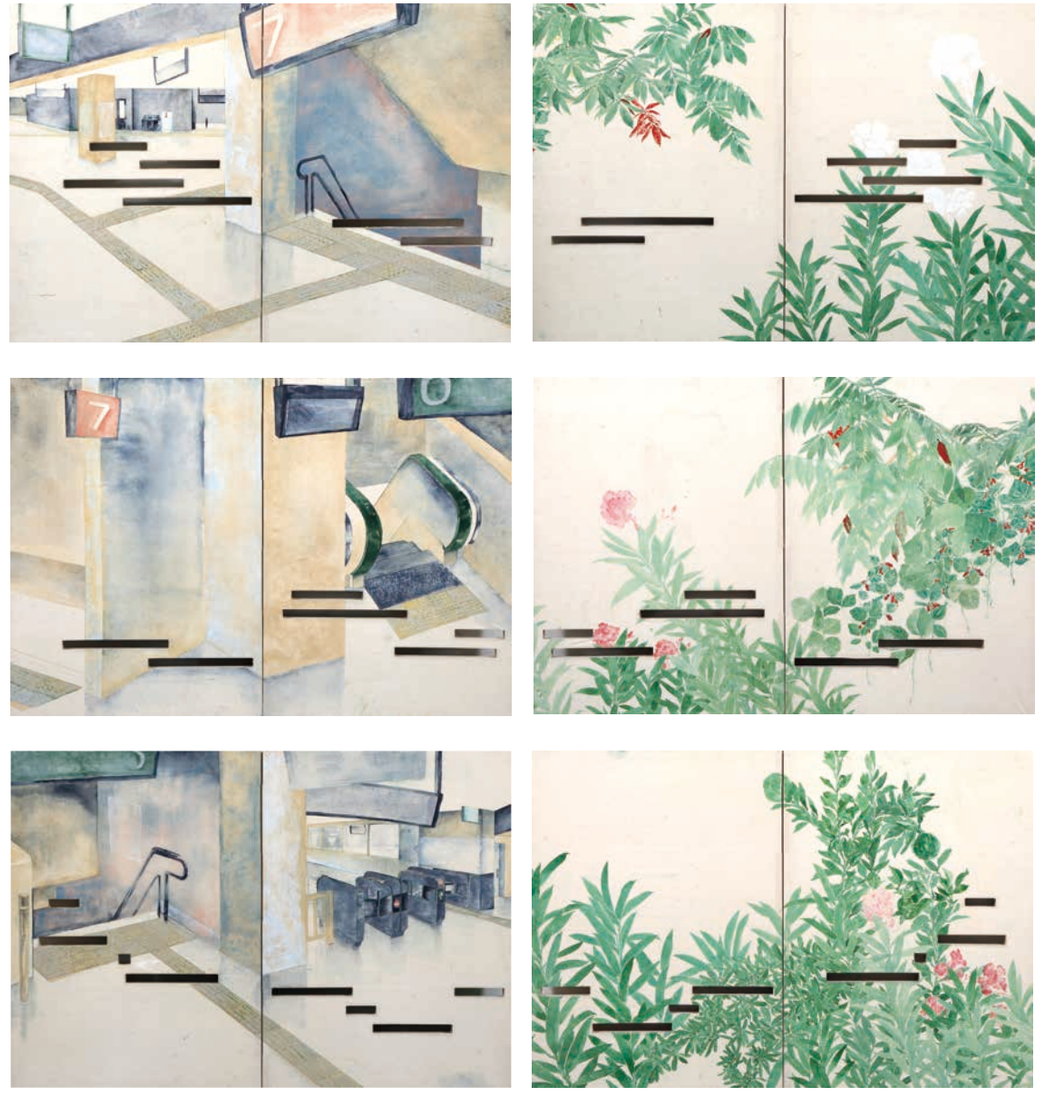
下田　実來 Mirai Shimoda

左：「地熱」130.3×103　綿布、水干絵具、岩絵具、パステル
右：「日々と。」65×90.5　布、水干絵具、岩絵具、パステル、クレヨン



多摩美術大学
田中　蘭 Ran Tanaka

「壮厳なる岩肌」72.7×91　岩絵具、紙本



文星芸術大学

谷口　尚子 Hisako Taniguchi

「共存」85×95×95　細川和紙、鹿膠、岩絵具、水干絵具

武蔵野美術大学

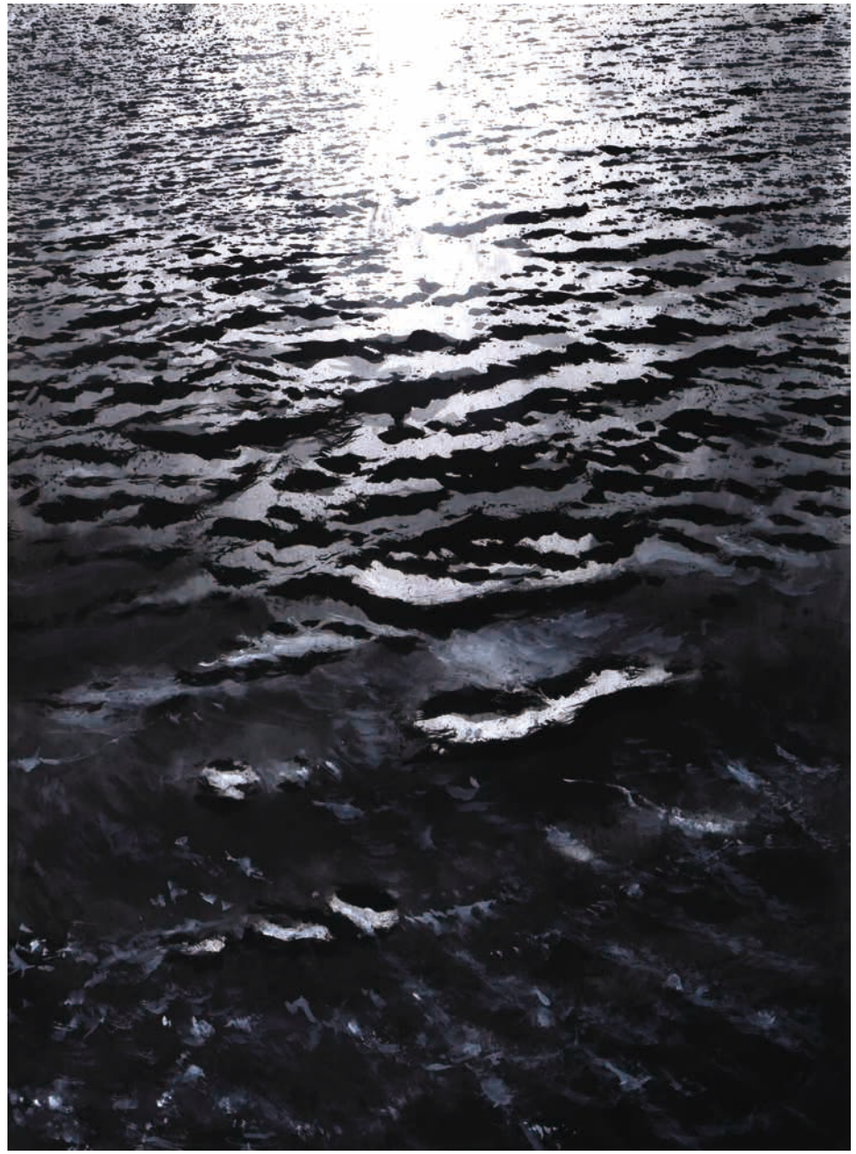
中島　百花 Momoka Nakajima

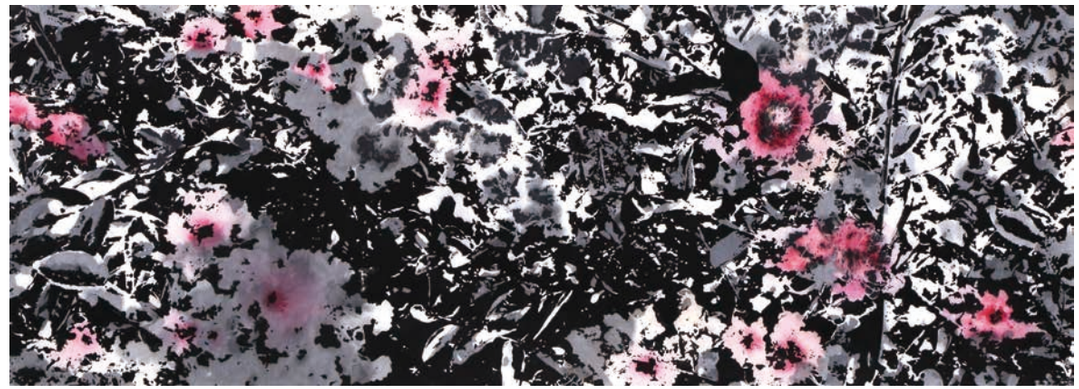
「8月13日の夕日」91×116.7　紙本、岩絵具、ペン

東北芸術工科大学

藤本　桃子 Momoko Fujimoto

「shooting star」53.0 ×145.4　紙本彩色





信州大学

宮本　汐莉 Shiori Miyamoto

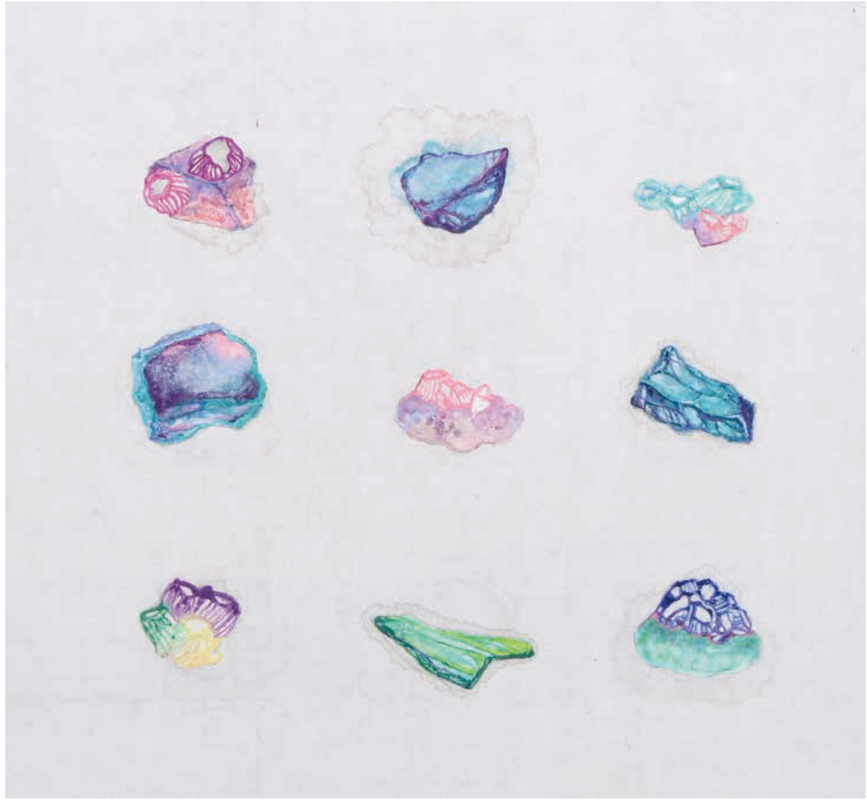
左：「流転」146 ×107.5　三彩紙、墨、胡粉　/　右：「彷徨」49×135　三彩紙、墨、顔彩

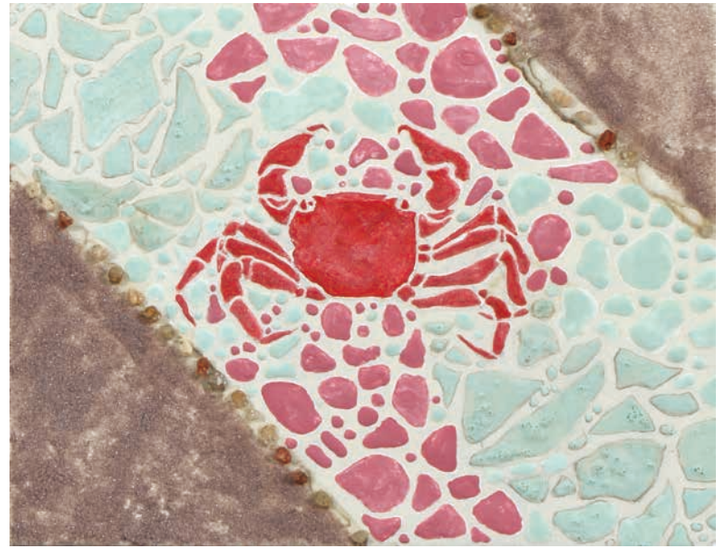
手島 Teshima

金沢美術工芸大学

阿部　友葉 Tomoha Abe

「じっと」 91×72.7　水干絵具、岩絵具





多摩美術大学
市村　菖 Ayame Ichimura

左：「海のおとしもの」30 ×30　和紙、岩絵具、砂
右上：「海の星 II 」17.5×26　和紙、岩絵具、砂　右下：「蟹」　14×18　和紙、岩絵具、砂

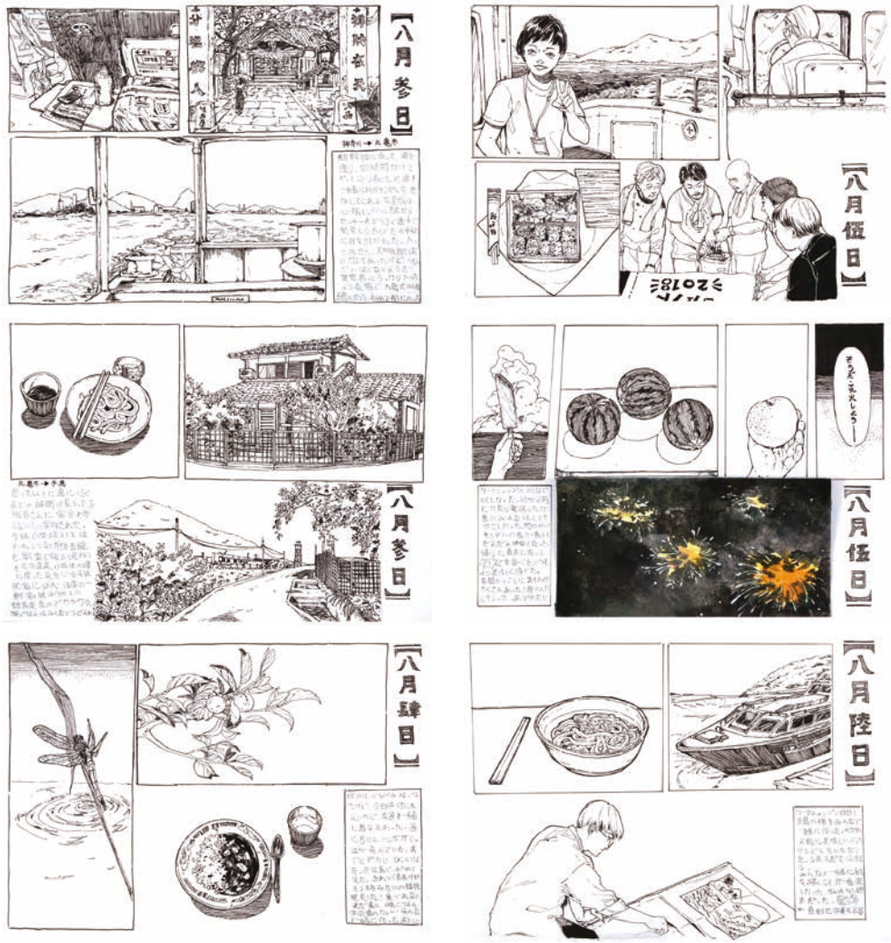
金沢美術工芸大学
川田　芙有 Fu Kawata

「地蔵」 72.7×91　和紙、水干絵具、岩絵具、パステル、色鉛筆

広島市立大学

岸本　祥太 Shota Kishimoto

左：「山の憶」130×162　雲肌麻紙、岩絵具　/　右：「島の憶」45×53　雲肌麻紙、岩絵具



多摩美術大学
唐　若琦　Ruo Qi Tang

「《私たちの夏休み》」 15×21　ペン、カラーインク、色鉛筆

金沢美術工芸大学

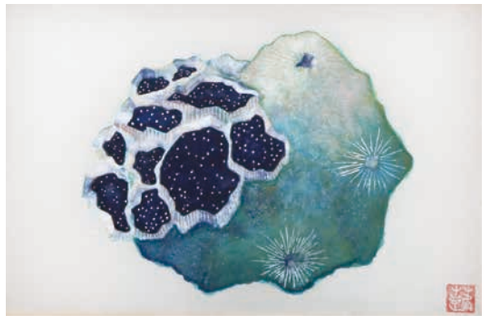
新田　彩乃 Ayano Nitta

「みかんの木」 72.7×91　和紙、水干絵具、岩絵具

多摩美術大学

朴 泰賢 Taehyun Park

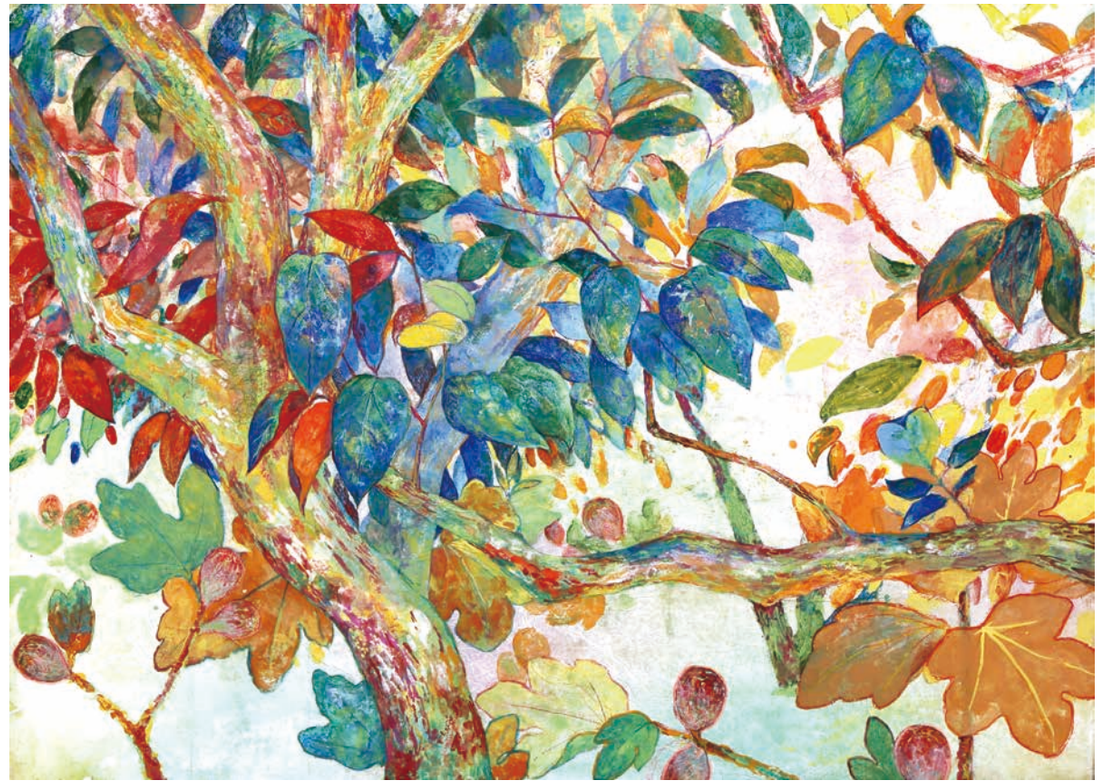
「深緑」 162×112　吉祥麻紙、水干絵具、岩絵具



倉敷芸術科学大学
原田　よもぎ Yomogi Harada

「夏に透ける絵」サイズ可変　絹、膠、胡粉、墨、水干絵具、岩絵具、染料、顔料、雲母

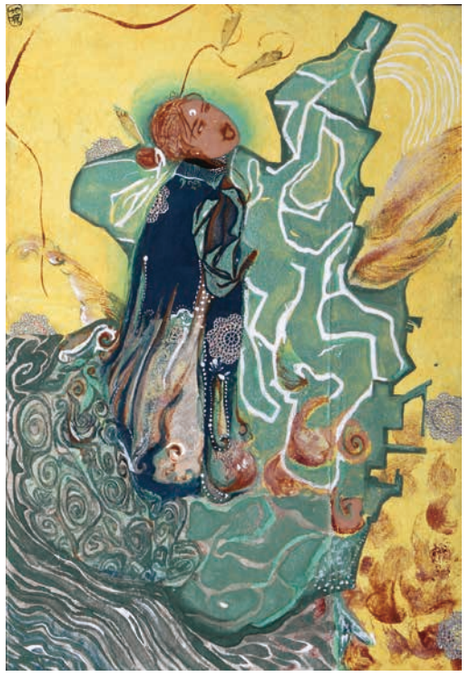
小手島　Oteshima



東北芸術工科大学

伊藤　みさき Misaki Ito

「小手島のいろ」65.2×91　和紙、岩絵具、金箔、銀箔、色鉛筆、パステル



女子美術大学

朱　地塬 Diyuan Zhu

「小手島・印像」サイズ可変　雲肌麻紙、和紙、岩絵具、銀箔、雲母、ジェッソ

多摩美術大学
張 庆 Qing Zhang

「部屋の思いて」「斑馬がある部屋」「なみ」「屋上の幻想」サイズ可変　土佐麻紙、墨、胡粉、水干絵具、岩絵具、ジェッソ

東北芸術工科大学

冨田　菜摘 Natsumi Tomida

「流転する景色」91×72.7　高知麻紙、墨、水干絵具、岩絵具

ワークショップ / 講師コメント

「今年のワークショップは、讃岐のり染でやりませんか？」
という、主催者の方のひと言で、私の平成最後の夏が始まりました。

人生とは不思議な縁で、様々な人達と事象で繋がっている様な気がしてなりません。あの時、あの人とあの場所で、主催者の方に出会っていなければ、こうして、島民の方々や学生達、ボランティアの方々と一緒に同じ時間を共有して、ワークショップを行う事はなかったでしょう。そう思うと非常に感慨深いものがあります。

さて、のり染で旗を作るというワークショップはどうだったのでしょうか？私自身も染め物を仕事場以外でするという経験は初めてでしたので、もっとこういうふうにしていれば、もっと皆さんが楽しく出来たんじゃないだろうか？もっと良い物ができたんじゃないかと、日々反省しています。あの暑い夏の日に染めた旗を見て、あの時は楽しかったな、と思い出していただけたら幸いです。

学生の方々へ、
このプロジェクトでの島民の方々との出会い、学生同士、ボランティアの方々との出会いや島での生活は、画風にも今後の生活にも何かしらの変化をもたらしてくれた事でしょう。この美しい瀬戸内での経験を糧に今後の益々のご活躍を期待しています。

最後に、この様な素晴らしい経験をさせていただいた関係者の皆様。誠にありがとうございました。

染匠吉野屋四代目　大野篤彦

HOT サンダルプロジェクト 2018
島民ワークショップ作品　Workshop

HOT サンダルプロジェクト 2018

学生ワークショップ作品　Workshop

HOT サンダルプロジェクト 2018 参加者

各島滞在者 50 音順

本島

・加藤　聖乃
・小林　明日香
・小松　莉子
・手代木　伽友
・吉田　楓

広島

・石渡　紬
・下田　実來
・田中　蘭
・谷口　尚子
・中島　百花
・藤本　桃子
・宮本　汐莉

手島

・阿部　友葉
・市村　菖
・川田　芙有
・岸本　祥太
・唐　若琦
・新田　彩乃
・朴　泰賢
・原田　よもぎ

小手島

・伊藤　みさき
・朱　地塬
・張　庆
・冨田　菜摘

未来の
収穫祭
2018

HOT サンダルプロジェクト 2018 作品展覧会　～未来の収穫祭 2018 ～作品図録
制作発行：丸亀市・HOT サンダルプロジェクト実行委員会
illustration&design：SAAYA　MASAKI
撮影：スタジオ 仁
印刷：有限会社細谷印刷所

丸亀市・HOT サンダルプロジェクト実行委員会